

(4) 廃棄物・雨水等処理計画

事業計画地は埋立地で、大規模な切土・盛土を伴う造成はないが、建物地下部や基礎工事において発生する残土については、極力、島内処分を行う予定である。

残土を搬出する場合は、島内に仮置きするなど、一時的に集中して搬出しないよう配慮する。その他、工事中に発生する建設廃棄物については、発生抑制、再利用、再資源化について適切な措置を講じる。

工事中の雨水や地下水については、適切な水質管理を行い、雨水管へ放流する予定である。

また、工事中の汚水（し尿）について、公共下水管整備前は仮設浄化槽で処理し適切な水質管理を行い、雨水排水管により海域へ排水するか、排出量が少ない期間については汲み取りにより周辺し尿処理場へ搬出する予定である。海域へ排水する場合の位置は図 1. 2. 10 を予定している。

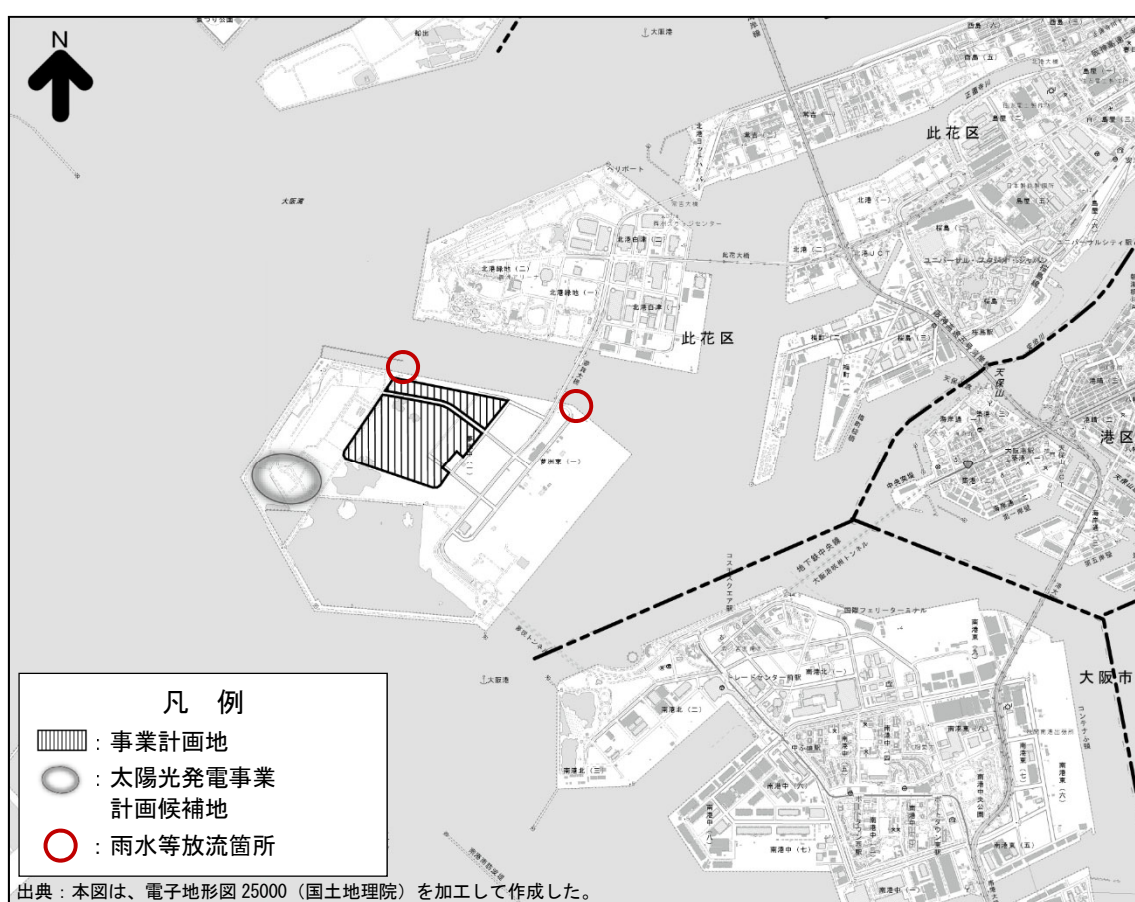


図 1. 2. 10 雨水等放流計画図

1. 2. 6 SDG s 達成への貢献

「未来社会の実験場」という大阪・関西万博のコンセプトを継承し、SDG s の達成に貢献するサステナブルな I R をめざす。